

## 令和2年度第8回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和2年8月19日(水) 午後3時28分～午後5時09分
2. 会 場 教育委員会 会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 鴻 野 弘 志  
職務代理者 五十嵐 紀 子 合宿の里統括監 三 上 正 洋  
委員 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章  
委員 加 藤 洋 之 社会教育課長 武 山 鉄 也  
委員 山 田 敦 久 中央公民館長 千 葉 真 奈 美

### 4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

#### ○中峰教育長あいさつ

昨日から2学期がスタートし、特にトラブルもなく、子どもたちは元気に通学していると聞いている。前回の会議で、「学校が楽しくなくなっている」と感じている子どもがいるとの発言があった。札幌市のスクールカウンセラーをしているスーパーバイザーが北海道通信に「今は大変な状況であっても楽しいことを忘れずにいてもらいたい」というコラムを執筆していた。その内容について、校長会を通じ、各学校に伝えたい。

前回の会議で「ダイハツものづくり教室」については例年どおり開催する旨をお伝えしていたが、大阪府内で感染者数が増加している状況を鑑み、先方から本年の開催を見送るとの連絡があった。その一方で、ダイハツ陸上部による「陸上教室」は、すでに選手たちが早い時期に北海道入りして合宿を行っていることから予定どおり開催する。同じ企業であっても対応が異なることとなったのには、相応の理由があつてのことであるということをお正しく伝えていくことも必要と考える。

後ほど、市民クロスカントリー大会についての考え方を示し、ご意見を伺いたい。

本日もよろしく願います。

#### 1 議事について

##### ○中峰教育長 進行

議案第15号 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告について説明を求める。

##### ○鴻野部長

8月11日に、5名の評価委員のうち4名の委員の出席のもと委員会を開催した。はじめに各施設の担当から評価調書の内容について説明し、その後、委員の皆さんからご意見をいただいた。学校教育では、「ふるさと給食のさらなる充実」や「中学校部活動のあり方検討」、社会教育では「まちづくり塾に対する期待」や「士別開拓120年事業」、スポーツ振興では「チャレンジデーの意義」、文化・芸術の振興では「地区公民館文化祭」、教育・学習環境の整備では「コミュニティ・スクールの推進」などに関する意見を報告書に盛り込んだ。

##### ○中峰教育長

本日の会議後のスケジュールはどのようになるか。

##### ○鴻野部長

9月4日の第3回定例会に報告し、その後ホームページで公表する。

○中峰教育長

今後、点検・評価の項目などを変更する考えはあるか。

○須藤課長

現在は「教育の重点」に定めた項目について点検・評価を行っている。

○中峰教育長

当面はこの形で実施していくということか。

○鴻野部長

「教育の重点」の項目が増えた場合は、点検・評価の項目も増えることになる。

○中峰教育長

点検・評価の方法については、統一された基準がなく各自治体の判断で作成している。

○五十嵐職務代理者

一昨年はC評価になった項目があった。

○中峰教育長

B評価となったものは、何が足りなくてAにならなかったのかを総括している。改善点があったものはB評価になっている。昨年度の事業はおおむね想定通りに実施できた。

○五十嵐職務代理者

アルファベットの評価以外に「事務事業の必要性」の欄がある。「子どもの学習習慣」はB評価だが見直しとなっている。

○千葉館長

昨年は事業が少なく、費用対効果の観点から見直しが必要と判断した。内容を変更するなどして継続したい。

○中峰教育長

参加者の固定化や、こども・子育て応援課と教育委員会のそれぞれで家庭学習事業を行っていることなど課題がある。昨年、議会で報告した際に「数値目標を設けたらよいのでは」との意見をいただいた。士別市人づくり・まちづくり推進計画では、数値目標を設定し評価している。

報告書の内容はよろしいですか。

(全員了承)

○中峰教育長

議案第16号 令和3年度から使用する中学校教科用図書の採択について、経過を含め説明する。本市をはじめとする旭川市以外の上川管内の市町村は第6地区教科用図書採択委員会協議会として共同で教科用図書を採択している。昨年は小学校の教科用図書を採択し、本年は中学校の教科用図書を採択する。4月から協議を開始し、6月と7月には調査委員会で様々な視点から検証を行ってきた。採択にあたり、アイヌや松浦武四郎についての記述など、北海道の地域性が反映されているかなども大事な観点の一つである。

○中峰教育長

協議会で採択した図書について、本市教育委員会として確認してよろしいか。

(全員了承)

なお、協議会の事務局は東神楽町が4年間に亘り担っているが、次は北部地区の順番になり、本市が担うことになるのでご承知おきいただきたい。

○中峰教育長

議案17号 令和2年度士別市教育委員会補正予算について説明を求める。

○鴻野部長

コロナウイルスの影響で事業が中止になったものは、ソフト・ハードとも減額するよう財政課から指示があった。他に陸上競技場の改修と、コロナ関連の補正があるので担当者から説明する。

○須藤課長

学校教育では、みよし市や川内村との交流事業が中止になったほか、今後開催されるかもしれないスキー競技以外の中体連経費について減額する。

○武山課長

チャレンジスクール事業は宿泊型で、感染リスクが高いため中止し、経費を減額する。

○三上統括監

スポーツイベントでは、準備のため一部経費を支出していたハーフマラソン大会をはじめ、オリンピックデーランやサマーjump大会など中止になったイベントの経費を減額する。また、市民スポーツ振興事業や「合宿の里士別」ステップアッププラン事業についても同様に減額する。

○千葉館長

生涯学習情報センターや文化センターでは、施設の休館に伴う管理業務等の経費を減額する。

○三上統括監

総合体育館、スポーツ交流館も休館に伴う管理業務経費を減額するほか、児童・生徒大会参加交通費助成事業については一旦全額を減額し、別に予算を計上する。また、陸上競技場地面に使用されている「タータン」に膨らみがあり、競技に支障が出るため改修する。

○須藤課長

次にコロナ交付金に関する補正で、公立学校衛生環境整備事業として、学校トイレの洋式化と、網戸設置、水道蛇口の交換経費を計上した。

○千葉館長

文化センター女子トイレのうち3基ある和式便器を洋式便器2基に改修する。

○三上統括監

スポーツ施設では、南郷プールの網戸設置、総合体育館の換気扇改修とスポーツ交流施設などの水道蛇口の改修を行う。

○千葉館長

文化センターはWi-fi環境が整っていないため、会議や講演会で活用できるよう整備する。

○三上統括監

スポーツイベント関連では、安全確保のためパーティションや、テントに取り付けるための横幕、ハンディー型サーマルカメラを購入する。また、児童・生徒大会参加交通費助成事業は、コロナ対策として車両のサイズアップに対応する経費を計上する。

○五十嵐職務代理者

新庁舎は蛇口のハンドルを交換する必要があるようだが、教育委員会の事務所はどのような状況か。

○中峰教育長

事務所も交換が必要である。日々消毒して対応している。

○馬場委員

サーマルカメラは2台で足りるのか。

○三上統括監

機種がいろいろあり、調査して選定している。まずは購入し試してみたい。

○中峰教育長

機種により性能もさまざまである。150万円くらいするものは顔認識し、すぐに測定できる。今回購入する機種はそこまでの精度がない。納品時期について今後のイベントにどこまで間に合うか。非接触体温計なども活用していく。フェイスシールドは1つ600円程度。イベントでは救護係やアナウンスの際に使用することを想定している。

○加藤委員

学校に網戸がつくのはいつ頃か。

○中峰教育長

前回の会議で扇風機の話も出たが、網戸はスライド式やロール式のことを想定している。網戸が必要な時期は終わってしまうが、今後も必要な設備であり、早期に整備する。

○山田委員

文化センターにはWi-fi環境がなかったのか。

○中峰教育長

教育委員会事務所やいぶきには設置している。総合体育館や陸上競技場も未整備である。

○山田委員

これからは必要になるのではないか。

○中峰教育長

文化センターは、今後避難所として活用されることも想定し優先度が上がった。他の施設についても整備する必要がある。

○加藤委員

GIGAスクール構想による一人あたり一台の端末について、保管場所や電気の容量などは確認しているのか。

○須藤課長

担当職員が学校に出向いて確認している。

○加藤委員

指導する教員が運用方法を学ぶ必要があるのではないか。

○中峰教育長

新学習指導要領にプログラミング教育が盛り込まれ、ICTの活用が進められるなか、国の方針として急転直下、一人一台の端末整備が決定した。明日、北部地区の教育長会議でも情報交換する予定である。

○五十嵐職務代理者

先生だけに運用を任せるのは酷である。

○中峰教育長

外部人材を活用し、研修を行うことなどを想定している。

○加藤委員

導入予定の機種は新しいOSだが、使いやすいとの情報も聞いている。それでも使いこなせるか心配な教員がいる。最近ではパソコンを所有していない人もいようだ。

○馬場委員

若い世代はスマートフォンが主流で、パソコンは不要という話を聞いた。

○中峰教育長

授業の中でどのように活用するか。例えば今回採択された教科書にはQRコードがあり、アクセスす

れば関連動画を観ることができ、文章だけでなく視覚的に見ることによって、より深く理解できる。教職員に指導する人材や経費をどうするか。大手メーカーには専門に指導するための人材がいるが、システムエンジニアは発想が違うため、他人に教えることは得意とはいえないようだ。

○山田委員

減額した予算はどうなるのか。

○三上統括監

翌年度予算の財源として使われる。

○山田委員

翌年度は本年中止した分として大規模に開催することはないのか。

○中峰教育長

イベント自体を見直すよう指示が出ている。

○加藤委員

課ごとにではなく、市全体で協力してイベントを開催する体制ができれば良いと思う。

○中峰教育長

市民クロスカントリー大会や文化祭などについての、現時点での考え方を説明願う。

○三上統括監

市民クロスカントリー大会は9月19日に予定していたが、26日に変更して開催する予定。選手1人に対し保護者2人まで入場可能とし、選手の動線を確保するなど対策を講じる。昨年は180人参加した。9月中旬から競技場の改修が始まるため、球場内をゴールにする。

○馬場委員

選手1人に対し保護者2人までということだが、どのように確認するのか。

○三上統括監

参加申し込みの際に来場予定者の氏名を記載してもらい、選手と来場予定者は必ず体調チェックとあわせて検温を1週間行う。当日、受付でその結果を提出してもらい確認する。

○中峰教育長

文化祭も同様に、誰が来場したのかわかるようにする。

○千葉館長

実行委員会で展示と芸能発表の開催方法について協議した。芸能発表は整理券を配布し、来場者名簿を作成、会場は320席を指定席として受付後は席まで誘導する予定である。受付でも検温を実施するため、スタッフの増員が必要となる。最終的には24日に判断していただくことになる。

○五十嵐職務代理者

中央地区の以外の状況は。

○千葉館長

上土別と多寄は発表会とバザーの中止を決定し、展示について検討中である。温根別は小学校の学芸会と一緒に開催していたが、本年は発表会・展示ともに実施しない。朝日は対策を講じたうえでサンライズホールを会場とし発表会を実施する。

○中峰教育長

中央地区においても、どうすれば開催できるかの視点で検討してきたところ。市長からは対応が煩雑すぎて大変ではないかとの話もあった。

○千葉館長

展示会場の来場者も氏名を確認し、作品の前で密にならないよう工夫する。

○中峰教育長

小中学生の展示について例年どおり実施できるか市教研を通じて確認したところ、各学校で授業の割振りが違い、およそ半数が対応できないとの回答であった。これまではいぶきを会場に開催していたが、本年は任意での参加とし、場合によっては文化センターを会場とすることも検討したい。

○千葉館長

集まった作品の数によって決定したい。

○中峰教育長

市民クロカンは雨天時は中止にする可能性もあるが、基本的に実施するものとする。賞状は後日渡すなど工夫したい。

○五十嵐職務代理者

表彰状と楯は一緒に渡すべきではないか。

○中峰教育長

時間短縮を図るためだが、表彰方法については引き続き検討する。

## 2 その他について

当面する今後の日程について

(鴻野部長説明。)

○馬場委員

市内でコロナウイルスに感染した患者は発生していないのか。

○中峰教育長

出ていない。合宿等の受け入れも、健康チェックなど万全を期している。因みに、先日来庁されたふるさと大使の岡田純一さんはPCR検査を受けたくて来市している。長期休業などで人の移動があり、今後の状況を注視する必要がある。

今後の中学校のあり方について検討しなければならない。温根別、多寄と統廃合したなか、これからの中学校のあり方はどのような形が望ましいのか。中央地区の学校もそうだが、上士別、朝日についても10年先を見据える必要がある。シビアでナイーブな話になるが、考えていかなければならない。具体的な話になれば委員のみなさんにもお伝えする。

午後5時09分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中 峰 寿 彰

会議録調整者 須 藤 友 章